

vHut操作手順書

-- システム管理者編 --

1. ライセンス

vHut は、Apache License Version 2.0 (January 2004)に基づいて使用、若しくは利用して下さい。

Copyright 2011 NTT Software Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.

See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

なお、vHut では GNU Lesser General Public License, Version 2 でライセンスされている Granite Data Services の Code generation tools (Gas3) を使用しており、改変・再配布しています。vHut を利用・再配布する場合、これらのファイルについては、GNU Lesser General Public License, Version 2 のライセンス規約に従って下さい。Granite Data Services のダウンロード先は、下記の通りです。

<http://www.graniteds.org>

2. 商標

記載されている会社および製品の名称は、各社の商標及び登録商標です。

3. 前提条件

本手順書を実施する際の、前提条件を以下に示します。

- 【vHut 導入手順書】の作業が完了し、vHut が正常に起動すること。

4. 手順概要

本手順書の概要を以下に示します。

- ユーザ・ロール作成
 - ユーザの作成
 - ✓ ユーザ選択
 - ✓ 属性情報設定
 - ✓ ユーザの確認
 - ロールの作成
 - ✓ 属性情報設定
 - ✓ ロールの確認
- コンポーネント作成
 - コンポーネントの作成
 - ✓ コンポーネント選択
 - ✓ 属性情報設定
 - ✓ コンポーネントの確認
- 利用予約状況の確認

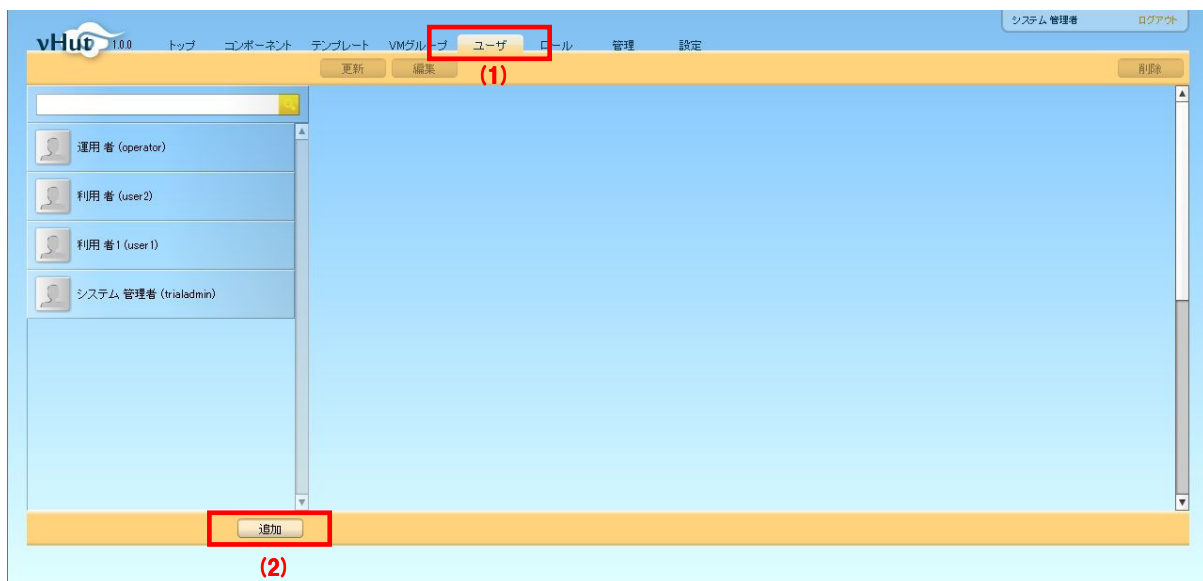
5. ユーザ・ロール作成

RHEV のユーザから vHut を利用するユーザを選択し登録することで、vHut のユーザを作成します。各操作に対する権限の有無を設定し、ロールを作成します。

5.1. ユーザの作成

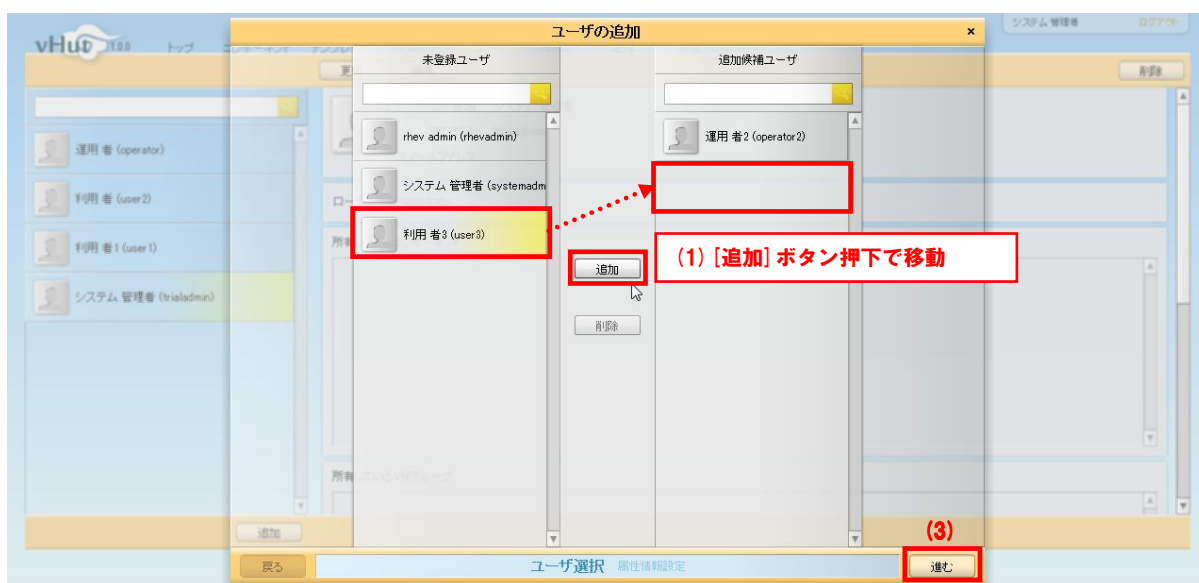
ユーザの選択および属性情報の設定をすることで、ユーザを作成します。

- (1) [ユーザ]タブをクリックすると、画面に[ユーザ]画面が表示され、画面左側に[ユーザ]サブメニューが表示されます。[ユーザ]サブメニューには、vHut に登録済のユーザが表示されます。
- (2) 画面左下の[追加]ボタンを押下すると、[ユーザの追加]画面が表示されます。



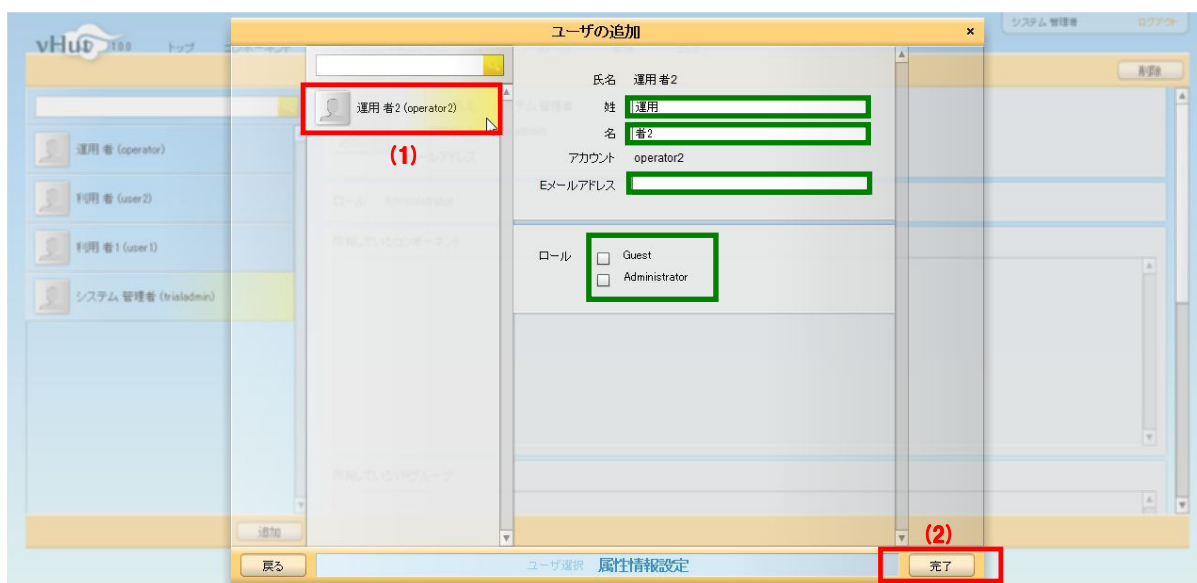
5.1.1. ユーザ選択

- (1) 画面左側の[未登録ユーザ]に、RHEVに登録済みかつvHutに未登録のユーザが表示されるので、vHutに登録するユーザを選択します。[追加]ボタンを押下すると、追加対象ユーザが画面右側の[追加候補ユーザ]に移動します。
- (2) 追加対象ユーザが複数いる場合は、(1)を繰り返してください。
- (3) 追加対象ユーザを全員選択したら、[進む]ボタンを押下します。



5.1.2. 属性情報設定

- (1) 画面左側に、追加対象ユーザが表示されるので、属性情報を設定するユーザを選択します。ユーザを選択すると、画面右側にユーザの詳細が表示され、下記の詳細な設定をすることができます。
 - 氏名は、[姓][名]のテキストボックス内を書き換えることで変更できます。
 - E メールアドレスは、[E メールアドレス]テキストボックス内に入力することで登録できます。
 - ロールは、[ロール]のチェックボックス内にチェックを入れることで設定できます。
初期設定では、[Guest]か[Administrator]が選択できます。
- (2) 設定が完了したら、[完了]ボタンを押下します。
- (3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、ユーザが作成されます。



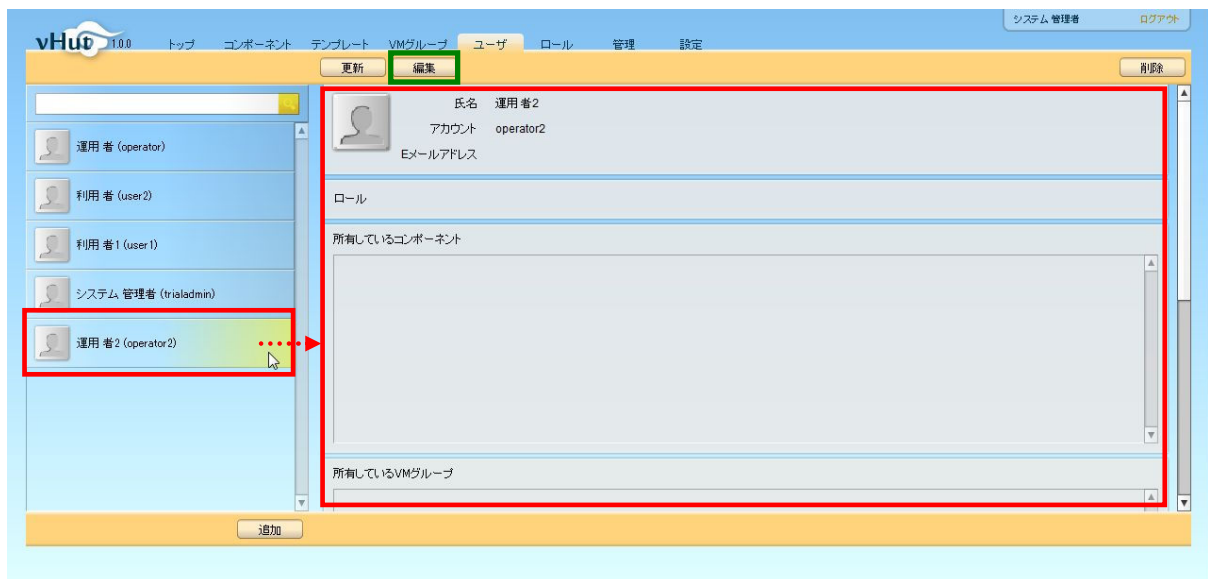
5.1.3. ユーザの確認

[ユーザ]サブメニューに、作成したユーザが表示されていることを確認します。

ユーザを選択すると、[ユーザ]画面にユーザの詳細が表示されます。

ユーザが設定どおりに作成されていれば、ユーザの作成は完了です。

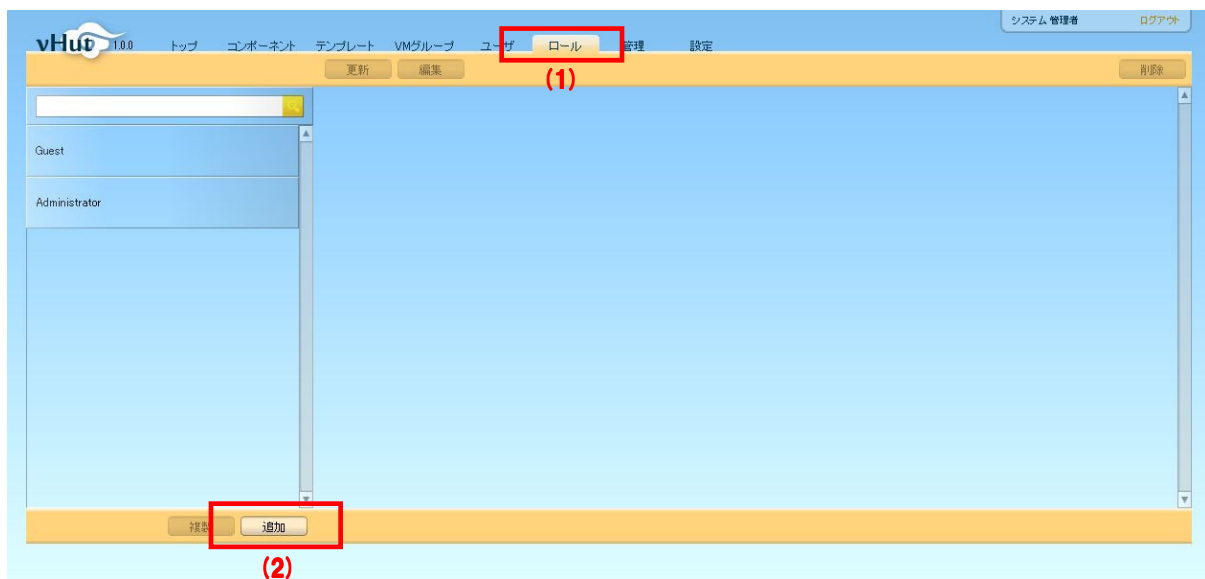
- ユーザの属性情報を変更する場合は、[ユーザ]サブメニューから変更したいユーザを選択し、[編集]ボタンを押下します。



5.2. ロールの作成

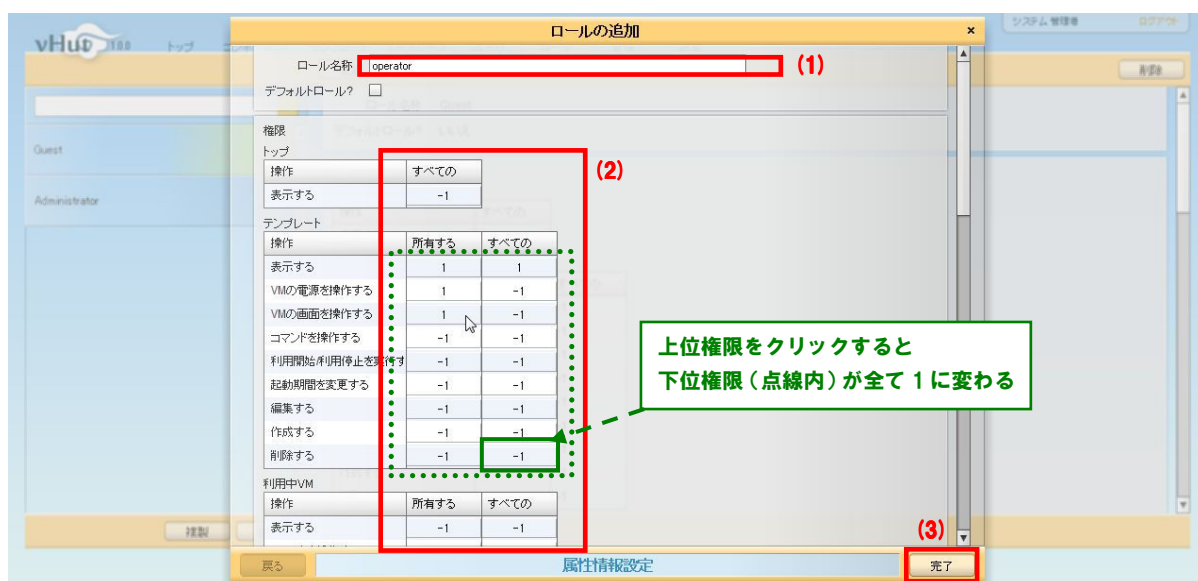
属性情報の設定をすることで、ロールを作成します。

- (1) [ロール]タブをクリックすると、画面に[ロール]画面が表示され、画面左側に[ロール]サブメニューが表示されます。[ロール]サブメニューには、作成済のロールが表示されます。
- (2) 画面左下の[追加]ボタンを押下すると、[ロールの追加]画面が表示されます。



5.2.1. 属性情報設定

- (1) [ロール名称]に、ロール名を入力します。
- (2) 各操作に対して、数字をクリックして権限を選択します。
 - ロールの数字は、それぞれ以下の意味を表しています。
 - 1 … 権限あり
 - 1 … 権限なし
 - 0 … 設定対象外
 - 権限矛盾防止および設定作業軽減のため、上位権限を設定すると、下位権限は一括で設定されます。
- (3) 設定が完了したら[完了]ボタンを押下します。
- (4) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、ロールが作成されます。



5.2.2. ロールの確認

[ロール]サブメニューに、作成したロールが表示されていることを確認します。

ロールを選択すると、[ロール]画面にロールの詳細が表示されます。

ロールが設定どおりに作成されていれば、ロールの作成は完了です。

- ロールを編集する場合は、[ロール]サブメニューから編集するロールを選択し、[編集]ボタンを押下します。
- ロールを複製する場合は、[ロール]サブメニューから複製するロールを選択し、[複製]ボタンを押下します。



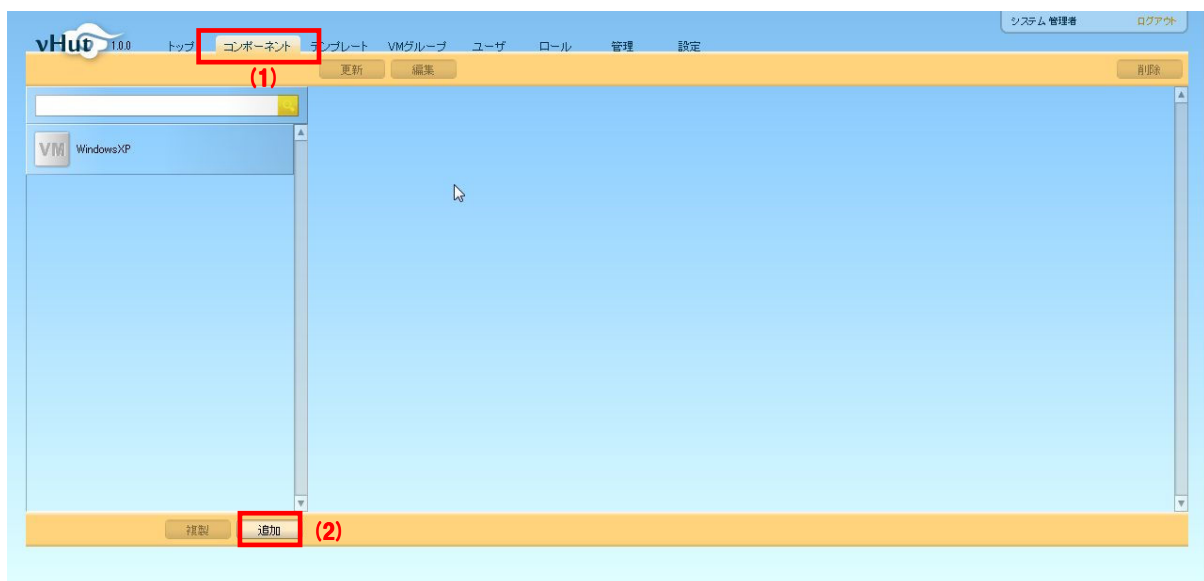
6. コンポーネント作成

RHEV 上で作成済のテンプレート(以降、RHEV テンプレート)を、vHut にコンポーネントとして登録します。RHEV 上に vHut でコンポーネントとして使用する RHEV テンプレートが存在していることを前提としています。

6.1. コンポーネントの作成

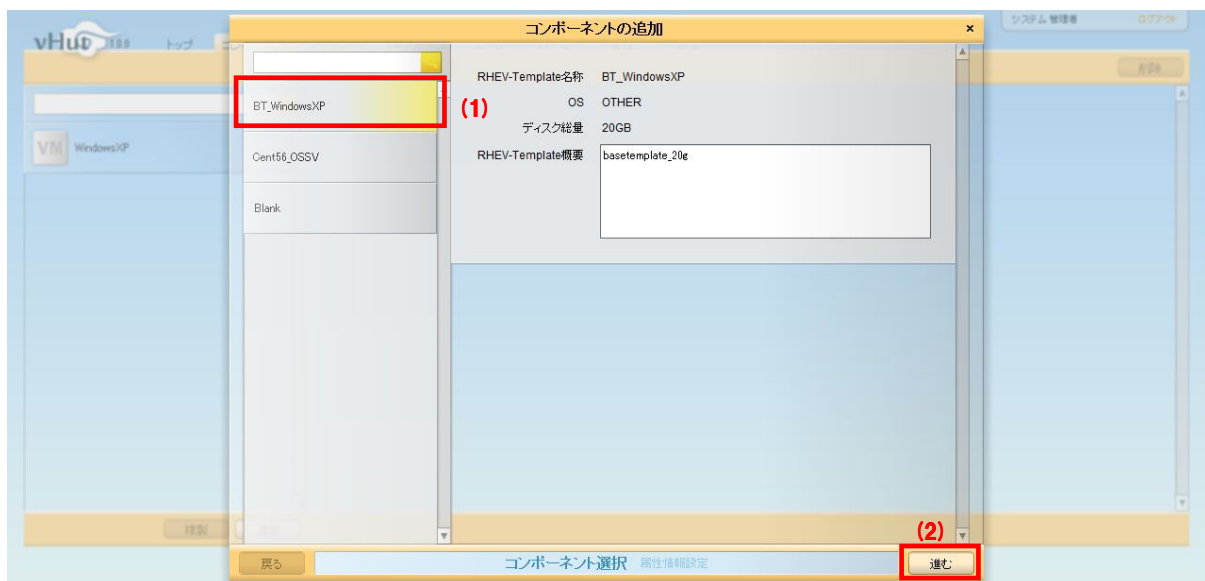
コンポーネントの選択および属性情報の設定をすることで、コンポーネントを作成します。

- (1) [コンポーネント]タブをクリックすると、画面に[コンポーネント]画面が表示され、画面左側に[コンポーネント]サブメニューが表示されます。[コンポーネント]サブメニューには、作成済みのコンポーネントが表示されます。
- (2) 画面左下の[追加]ボタンを押下すると、[コンポーネントの追加]画面が表示されます。



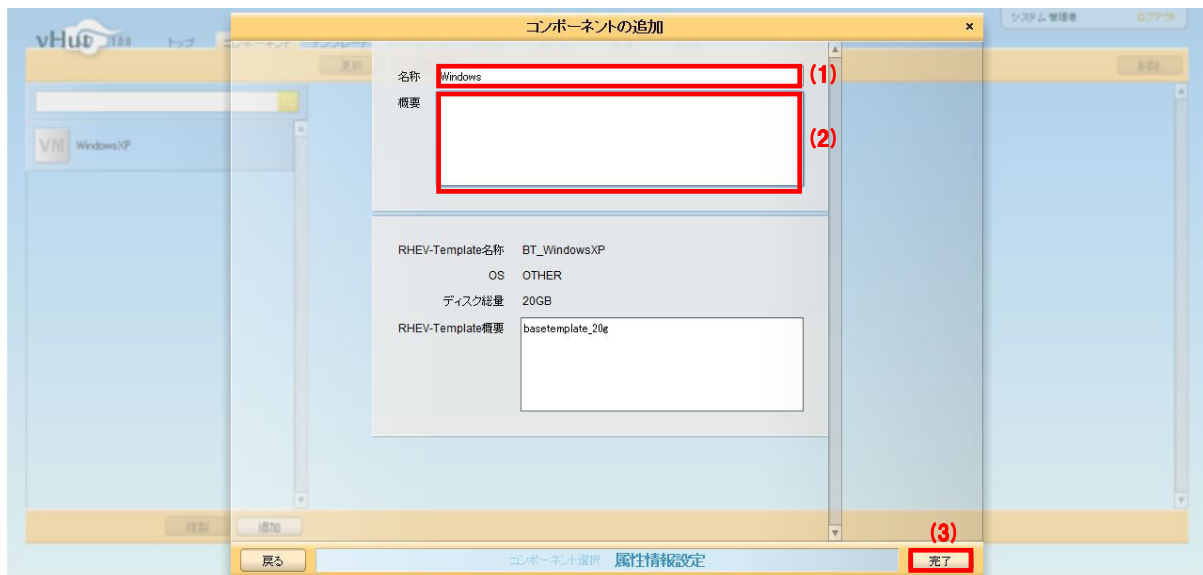
6.1.1. コンポーネント選択

- (1) 画面左側に RHEV テンプレートが表示されるので、vHut のコンポーネントとして登録する RHEV テンプレートを選択します。RHEV テンプレートを選択すると、画面右側に詳細が表示されます。
- (2) RHEV テンプレートを選択したら、[進む]ボタンを押下します。



6.1.2. 属性情報設定

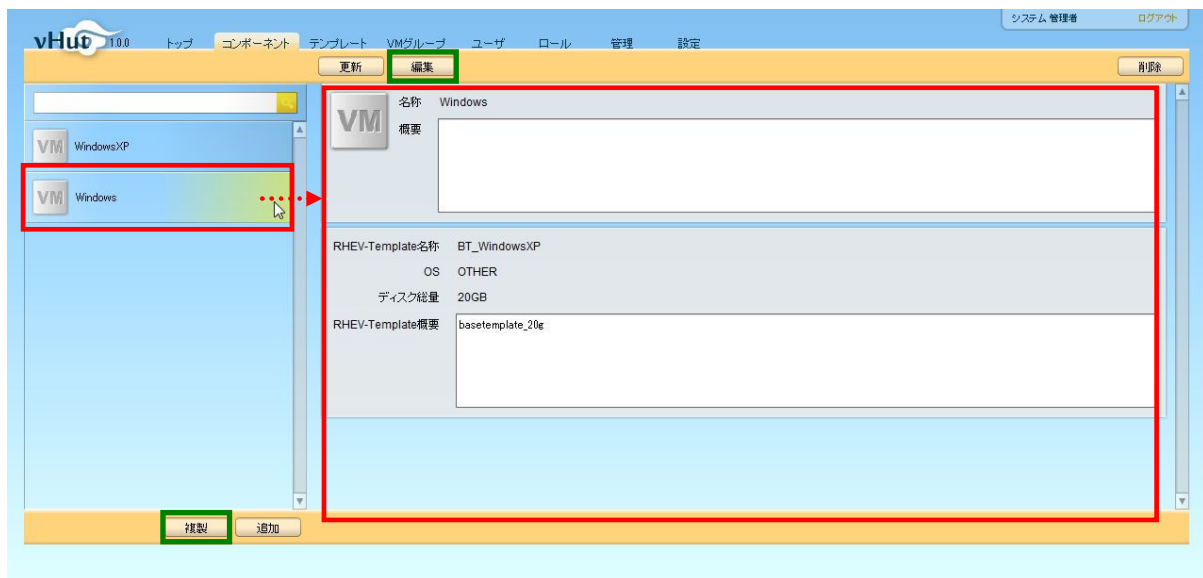
- (1) [名称]に、コンポーネント名を入力します。
- (2) [概要]に、コンポーネントに対する説明を記述することができます。
- (3) 設定が完了したら[完了]ボタンを押下します。
- (4) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、コンポーネントが作成されます。



6.1.3. コンポーネントの確認

[コンポーネント]サブメニューに、作成したコンポーネントが表示されていることを確認します。
コンポーネントを選択すると、[コンポーネント]画面にコンポーネントの詳細が表示されます。
コンポーネントが設定どおりに作成されていれば、コンポーネントの作成は完了です。

- コンポーネントを編集する場合は、[コンポーネント]サブメニューから編集するコンポーネントを選択し、[編集]ボタンを押下します。
- コンポーネントを複製する場合は、[コンポーネント]サブメニューから複製するコンポーネントを選択し、[複製]ボタンを押下します。



7. 利用予約状況の確認

ハイパーバイザサーバのリソースがどの程度予約されているか確認します。

- (1) [管理]タブをクリックすると、画面に[管理]画面が表示され、画面左側に[管理]サブメニューが表示されます。[管理]サブメニューには、[パフォーマンス]、[利用予約状況]、[コマンド]が表示されます。
- (2) [管理]サブメニューから[利用予約状況]を選択すると、[管理]画面に現在のハイパーバイザサーバのリソース予約状況が表示されます。
- (3) 画面右下のカレンダーをクリックし日付を選択すると、グラフのスケールを変更することができます。

